

1 平成18年度資源配分方針策定の基本的考え方

- 平成18年度は、次期科学技術基本計画の初年度。「科学技術基本政策策定の基本方針」を踏まえ策定。今秋以降に基本政策が最終的にとりまとめられるにあわせ、「科学技術関係予算の編成に向けて」を決定・意見具申
- 「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」の基本姿勢に沿って推進
- 「人類の英知を生む」、「国力の源泉を創る」、「健康と安全を守る」の3つの理念と科学技術が目指す方向を示した6つの政策目標に沿って推進
(6つの政策目標：①飛躍知の発見・発明、②科学技術の限界突破、③環境と経済の両立、④イノベーター日本、⑤生涯はつらつ生活、⑥安全が誇りとなる国)
- 科学技術関係予算の改革を更に推進し、科学技術関係施策を充実・強化

2 科学技術の戦略的重点化

(1) 基礎研究の推進

知の創造と活用の源泉となる質の高い多様な基礎研究を、競争的環境の下で推進

(2) 政策課題に対応した研究開発の重点化

1) 重点4分野及びその他の分野の着実な推進

- ①重点4分野：各分野の中で、重要な領域を絞り込み、選択と集中を更に推進する。
 - (a)ライフサイエンス(ポストゲノム研究、がんの予防・診断・治療、新興・再興感染症等)
 - (b)情報通信(ユビキタスネットワーク、次世代ロボット、ソフトウェア人材等)
 - (c)環境(地球温暖化、バイオマス利活用技術、地球観測システムの構築等)
 - (d)ナノテク・材料(ナノエレクトロニクス、ナノバイオテクノロジー、課題解決型材料研究等)
- ②その他の分野：今後、基本政策等の検討結果を踏まえる。
 - (a)エネルギー(水素利用/燃料電池、原子力利用等)
 - (b)製造技術(低コスト・高付加価値化製造技術等)
 - (c)社会基盤(総合的な安全保障・危機管理等)
 - (d)70717(宇宙輸送系・衛星系の信頼性確保等)

2) 新たな政策ニーズへの対応

- ①安全・安心な社会を構築するための科学技術
国土と社会の安全確保、暮らしの安全確保に関する科学技術の総合的・横断的な推進
- ②国の持続的発展の基盤となる重要な科学技術
長期的国家戦略の下、国として取り組むべき重要な科学技術の検討
以上の他、みらい創造プロジェクト、新産業創造戦略の研究開発を引き続き推進

3 科学技術システム改革の推進

(1) 競争的研究環境整備のための資金配分

競争的研究資金の拡充、制度改革の推進、競争的研究資金と基盤的資金の適切なバランスの実現等

(2) 科学技術人材の育成と活躍の促進

女性研究者が活躍できる環境の整備、多様な人材の能力を活かすための機会の拡大、次代を担う人材の裾野の拡大等

(3) その他の科学技術システム改革

- ①各府省等における研究開発評価システムの改革
新大綱の指針を踏まえた効果的・効率的な評価システムの構築の一層の推進等
- ②大学改革の推進
優れた研究教育拠点を目指し、人事等の競争的環境の拡大と教員の資質向上等
- ③産学官連携の推進
推進体制の活用による新たな価値の社会還元及び人材育成等
- ④地域科学技術の振興
関係府省及び地方公共団体の連携強化、地域におけるコーディネート機能の強化等
- ⑤科学技術基盤整備の推進
先端大型共用研究設備の共用促進、大学施設整備、知的財産の戦略的活用等

4 社会・国民に支持される科学技術

自然科学と人文・社会科学を合わせた総合的取組を推進
科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に責任をもって取組
科学技術に関する国民との対話機能を強化
生活者の視点に立った科学技術活動を推進等

5 国際的な取組の戦略的推進

- 政策目標を明確化し、特にアジア諸国との連携を強化
- 1) 戦略的国際化の推進
 - 2) 国際化施策の一層の推進

6 科学技術関係予算の改革と充実・強化の進め方

- (1) 科学技術関係施策の優先順位付け(SABC)等
- (2) 独立行政法人等の科学技術関係活動の把握・所見とりまとめ
- (3) 科学技術連携施策群の本格的推進
- (4) 研究開発の評価の徹底